

# 大手企業交渉

73回目となる大手企業交渉が4月22、23日で開催されました。対象はスーパーゼネコンやハウスメーカーを含む33社です。主な要求はコロナ対策、賃金引上げ、CCUSです。私の参加した戸田建設では残念ながら賃金は横ばいでした。週休2日に対応した単価となるよう要請してきました。詳しい内容を知りたい方は支部までご連絡ください。各社の回答は6月に配布予定の企業交渉特集号を参照ください。

## シリーズ③

### 住宅デー



前回「企業交渉」は現場の声の積み重ねで成り立っているのではないかと問いかけてました。今回は「住宅デー」聞いたこと、参加したことがあります。

多摩北の住宅デーはすごいです。ユニオン全体の中でピカイチです。6月上旬、小平市民広場に「委員長兼団長(?)の演説から始まり職人の技を子供達と共に楽しむ木工教室、タイム、彫金コーナー等、地域の小学生による元気いっぱいのお楽しみ会、踊り、締めは上棟式。

支部最大のイベントに

# 広がるCCUS

CCUSの能力評価が始まっています。既に申請してレベル1のホワイトからレベル3のシルバーになった方もいます。レベル変更には職種ごとに必要な資格が違いますので、まずは自分の職種にはどの資格が必要なのかを確認してみてください。国土交通省HPに35職種の能力評価の基準が出ています。

多摩北支部では、レベル判定にかかる費用(4000円)を補助していますので、変更する方は支部事務所までご連絡ください。

## 職人憲法

して更に楽しい1日です。一角には住宅相談の旗がびびります。

資料には次のように紹介されています。1977年に制定した職人憲法の実践活動として、地域における私たちの職域防衛を目的に翌年から6月25日を統一行動日と定の運動を開始しました。背景として大手の住宅産業への進出、プレイング、建売住宅の進出が私たちの仕事を奪っていくと、危険を感じていました。

## 地域に根ざした職人の士

隠れた歴史「職人憲法」日本国憲法に負けず劣らぬ前文は宣言します。「住宅は人間の生命と健康、尊厳を守りやせうぎと秩序を保障するものです。そして子育ての場、大切な家族やともに暮らす人との信頼と愛情を結びついた場所です。私たちは家づくりの際、一人一人の健康、快適な生活環境の整備につとめます。私たちの仕事は技術、技能が売り物です。そのために私たちは日々、うかうか技術、技能の向上、後継者養成に努力します。これを基に、「住宅建築業務基準」を定の10項目に渡り業者の業務と責務、労働者の責務、現場の安全安心防災等について制定し仕事に対するあり様をうたっています。

阪神淡路大震災の時地域の職人が自らの道具を使って多くの住民を助けたことは知られていません。一方、東日本大震災において自衛隊、警察が来る前に道を通れるように整備した地元業者がいた事があります。

「あと5年遅く起きてもいいから、この行動はできないか」との言葉を残しています。

近年、地域の工務店業者は元気がありません。顧客の多くは修理等の相談を大手に頼っています。組合では住宅斡旋事業を行っています。

## 森しんいち報告

各市により年齢等の違いはありますが、高齢者へ新型コロナワクチン接種券の発送が行われ始めています。しかし、全国的にワクチンの供給が間に合っていない状況です。接種券が届いたからといって直ぐに予約ができる訳ではありません。電話での問い合わせもパンク状態です。今後発行される各市の市報に必ず予約方法(予約の開始時期や当初接種できる会場(病院)が掲載されるのでそれらをよく読んでから行動してください。

## 集団健診

新型コロナウイルスの影響により中止となる可能性もあります。ご了承の上、お申し込みください。

- ① 6月20日(日) 会場：小平福祉会館
- ② 7月4日(日) 会場：東久留米めぐく健康プラザ
- ③ 7月11日(日) 会場：小平福祉会館(多摩中央支部主催)
- ④ 8月1日(日) 会場：忠生市民センター(多摩支部主催)
- ⑤ 9月5日(日) 会場：東久留米めぐく健康プラザ

【伊東昇】